

MEPM の AUD・DOT 削減と培養提出率の向上を目的とした広域抗菌薬使用届出様式の変更と MEPM 開始時の培養提出依頼に関する研究

2024 年 2 月 1 日から 2025 年 7 月 31 日までに治療のために MEPM、TAZ/PIPC、CFPM を使用した治療を受けた患者さん

研究協力のお願い

当科では「MEPM の AUD・DOT 削減及び培養提出率の向上を目的とした広域抗菌薬使用届出様式の変更と MEPM 開始時の培養提出依頼に関する研究」という研究を行います。この研究は、2024 年 02 月 01 日から 2025 年 07 月 31 日までに東京労災病院にて、治療のためにメロペネム（MEPM）、タゾバクタム/ピペラシリン（TAZ/PIPC）、セフェピム（CFPM）が使用された患者さんの抗菌薬使用状況（使用量や使用期間等）を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（１）研究の概要について

研究課題名：MEPM の AUD・DOT 削減及び培養提出率の向上を目的とした広域抗菌薬使用届出様式の変更と MEPM 開始時の培養提出依頼が与える影響、また広域抗菌薬使用届出の様式変更のみが TAZ/PIPC、CFPM に与える影響に関する研究

研究期間：2025 年 7 月 1 日～2025 年 12 月 31 日

研究責任者：東京労災病院 薬剤部 中村 優太

（２）研究の意義、目的について

MEPM の抗菌薬使用密度（AUD）、抗菌薬使用日数（DOT）削減及び培養提出率の向上を目的とした広域抗菌薬使用届出様式の変更と培養提出依頼が与える影響、また広域抗菌薬使用届出の様式変更のみが TAZ/PIPC、CFPM に与える影響を明らかにすることを目的とします。

（３）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2024 年 02 月 01 日から 2025 年 07 月 31 日までに東京労災病院にて、MEPM 及び TAZ/PIPC、CFPM を用いた治療を受けられた患者さんの治療期間や培養提出状況などを解析し、AUD・DOT の削減と培養提出状況についての検討を行います。

○AUD・DOT とは

・AUD: 特定期間（調査期間）に使用された抗菌薬の使用総量を特定期間の入患者数で除したもの（係数含む計算式下記参照）

$$\text{AUD} = \frac{\text{特定期間の抗菌薬使用総量（力価総量（g））} \times 100}{\text{規定 1 日投与量（g）} \times \text{特定期間の在院患者延数}}$$

・DOT：特定期間（調査期間）に抗菌薬が使用された合計日数を特定期間の入院患者数で除したもの（係数含む計算式下記参照）

$$\text{DOT} = \frac{\text{特定期間の抗菌薬使用延日数}}{\text{特定期間の在院患者延数}} \times 100$$

以上より AUD、DOT は抗菌薬の使用状況としての指標として用いられる。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、投与期間、投与量、診断名、提出培養、等

（４）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（５）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

（６）問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 薬剤部 中村 優太

〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21

電話番号：03-3742-7301（代表） 内線：3123（薬剤部）

メールアドレス：trh-yakuzai18@outlook.jp